

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	整形外科学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年		学期及び曜時限	後期	教室名	902教室,機能訓練室
担 当 教 員	菊地 淳	実務経験と その関連資格	急性期一般病院、整形外科・スポーツ整形外科診療所にて運動器・スポーツ理学療法に12年間従事。理学療法士。修士(医療安全管理学)。赤十字救急法救急員。			
《授業科目における学習内容》						
<p>・整形外科学の学域は、理学療法士にとって最も重要な領域の一つである。本講義では、理学療法士にとって必須となる整形外科の考え方と整形外科疾患の基礎知識を修める。理解した内容はすぐに臨床で実践できるように臨床現場で働いている感覚で評価・治療を実践できることを到達目標とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>授業レポート(20%)、定期試験(80%)により総合評価を行う。 授業レポートは、授業を重ねるごとに教員と学生間で形成的に相互理解を図り、その上で課題を決定する。 定期試験前には、試験範囲の総合的確認と内容理解を確認し、OSCE、評価実習、臨床実習、国家試験そして臨床へと繋がる内容とする。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>①中村利孝ら(監)標準整形外科学第13版, 医学書院, 2017 ②島田洋一ら(編)改訂第2版整形外科術後理学療法プログラム, メジカルビュー社, 2016 ※参考図書は適宜提示する。</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>①教科書の通読による自己学習(予習, 復習) ②配布資料(補足プリント, 試験対策レジュメ)に沿った自己学習 ③学生間での実技練習(評価実技, 治療実技)</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>①解剖学, 生理学の知識を基に理解が深まるので, 大いに復習すること。 ②近い将来, 臨床で出会う症例を想像しながら臨み, この授業で学ぶ知識, 技術を自分のものとしていただきたい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	関節リウマチとその類縁疾患について理解する		教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読	
	各コマにおける授業予定	関節リウマチとその類縁疾患(1)関節リウマチ概説①病態評価				
第2回	授業を通じての到達目標	関節リウマチとその類縁疾患について理解する		教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読	
	各コマにおける授業予定	関節リウマチとその類縁疾患(2)関節リウマチ概説①病態評価				
第3回	授業を通じての到達目標	変形性関節症について理解する		教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読	
	各コマにおける授業予定	変形性関節症(1)総論①病態生理				
第4回	授業を通じての到達目標	変形性関節症について理解する		教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読	
	各コマにおける授業予定	変形性関節症(2)総論①病態生理				
第5回	授業を通じての到達目標	変形性関節症について理解する		教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読	
	各コマにおける授業予定	変形性関節症(3)総論①病態生理				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	骨粗鬆症について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	代謝性骨疾患(骨粗鬆症を中心に)		
第7回	授業を通じての到達目標	骨粗鬆症について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	代謝性骨疾患(骨粗鬆症を中心に)		
第8回	授業を通じての到達目標	四肢循環障害と阻血壊死性疾患	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	四肢循環障害と阻血壊死性疾患について理解する		
第9回	授業を通じての到達目標	四肢循環障害と阻血壊死性疾患	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	四肢循環障害と阻血壊死性疾患について理解する		
第10回	授業を通じての到達目標	先天性骨系統疾患・先天異常症候群について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	先天性骨系統疾患・先天異常症候群		
第11回	授業を通じての到達目標	先天性骨系統疾患・先天異常症候群について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	先天性骨系統疾患・先天異常症候群		
第12回	授業を通じての到達目標	骨腫瘍・軟部腫瘍について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	骨腫瘍・軟部腫瘍		
第13回	授業を通じての到達目標	骨腫瘍・軟部腫瘍について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	骨腫瘍・軟部腫瘍		
第14回	授業を通じての到達目標	熱傷・感染症について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	熱傷・感染症		
第15回	授業を通じての到達目標	熱傷・感染症について理解する	教科書(①～②)	教科書(①～②)の通読
	各コマにおける授業予定	熱傷・感染症		